

授業科目 精神保健看護学演習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護	
西川 薫、金谷 光子 他		開講時期	後期	必修選択	必修	
		単位数	1	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
	◎			○		
【概要・一般目標：G10】 精神看護を実践するための基礎となる患者理解に必要な知識と技法を修得する。 患者理解から具体的に必要な看護を創造する。						
【学習目標・行動目標：SB0】						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護における対象関係論の重要性を説明することができる。 2. 対象者の人生を物語論的に述べることができる。 3. プロセスレコードを通して自己理解、他者理解をおこなうことができる。 4. 事例検討を通して対象者を多角的に理解し看護の方向性について討議することができる。 5. アセスメントに基づいた看護計画を立案することができる。 						
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1-8	—事例— 統合失調症の患者が抱えている日常生活の障害			2, 3 5	3事例のうち指定された1事例を実施 1 講義、ビデオ 1-4 講義 1-4 演習、グループワーク 1-4 演習、グループワーク 1-5 講義、ビデオ 1-5 講義、ビデオ 1-5 講義、ビデオ	
1-8	—事例— うつ病の患者が抱えている日常生活の障害			2, 3 5		
1-8	—事例— 境界性パーソナリティ障害の患者が抱えている日常生活の障害 PBL			2, 3 5		
9	精神看護における対象関係論			1		
10	援助技法としてのプロセスレコード			1-4		
11	プロセスレコード検討会（1）			1-4		
12	プロセスレコード検討会（2）			1-4		
13	主な精神疾患看護（1）			1-5		
14	主な精神疾患看護（2）			1-5		
15	家族システムとそのダイナミクス、感情と看護			1-5		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>		<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		実践看護技術学習テキスト 精神看護学	野嶋佐由美	日本看護協会		2002・3,900円＋税
参考書		精神看護学ノート 第2版	武井麻子	医学書院		2005・2,000円＋税
		系統看護学講座 専門分野2 精神看護の基礎	武井麻子	医学書院		2009・2,200円＋税
		精神看護学 [1] 系統看護学講座 専門分野2 精神看護の展開	武井麻子	医学書院		2009・2,200円＋税
その他の資料						
【評価方法】		【履修上の留意点】				
出席状況（5%） レポート（5%） PBLへの取り組み（40%） 筆記試験（50%）		PBL、プロセスレコードの検討では積極的な意見交換をおこないます。				